

本校の不登校対策について

【江東区立 A 中学校の取組】

不登校生徒の状況

対象生徒は、様々な理由があり不登校傾向となっているが、多くの家庭は外部機関との連携ができています。それにより、一人一人の個別の支援を行うこともできています。ただし、外部機関との連携が取れない家庭もあり、その家庭の支援が課題である。

具体的な取組

◆学年・学級経営の充実

各学年、各学級で生徒との関係を密にして生徒の居場所作りに取り組んでいる。学年行事など、主体的な生徒の活動を支援している。

◆校内研修会の開催

不登校担当教員が中心となり、不登校に関する校内研修会を年3回行い、不登校の未然防止マニュアルについて学び、共通理解を図っている。

◆不登校担当者会議の開催

毎月1回以上不登校担当者会議を開催し、生徒の情報を共有し、課題解決に向け取り組むとともに、全教職員に共通理解を図り全校体制で支援している。また、適宜、関係者会議を開き、速やかに対応している。

◆魅力ある学校作り

部活動の推進、ボランティア活動の充実、補習教室、少人数授業、オンラインの活用、運動会など全校行事の活性化、環境整備などを行い、魅力ある学校生活を目指した。



成果

◆継続的な支援を行ってきた結果、生徒や保護者との信頼関係が築かれてきている。外部機関との連携により、登校ができる生徒も増えてきている。

課題

◆生徒一人一人の状況や気持ちを的確に把握して支援にあたるのが課題である。